



2018年6月25日

各 位

会 社 名 クラリオン株式会社
 代 表 者 名 執行役社長兼CEO 川端 敦
 (コード番号 6796 東証第一部)
 問 合 せ 先
 責任者役職名 経営戦略本部 担当本部長
 氏 名 宮本 浩
 T E L (048) 601-3700 (代 表)

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社日立製作所について、支配株主等に関する事項は以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社又はその他の関係会社の親会社の商号等 (2018年6月25日現在)

名 称	属 性	親会社の議決権 所有割合 (%)	発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
(株)日立製作所	親会社	64.00	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部

2. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社等との関係

当社の親会社は、株式会社日立製作所（以下、「日立製作所」という。）であり、当社株式の議決権の64.00%を保有しており、親会社とそのグループ企業との緊密な協力関係を維持しながらも、当社の事業活動においてはブランドの独自性を確保し自ら意思決定を行い、親会社以外の株主の権利を尊重することを基本方針としております。

当社においては、親会社である日立製作所との経営情報の連携強化を目的として、日立グループより取締役1名を選任しておりますが、当社の取締役会は、当該取締役1名のほか、社外取締役3名を含む合計6名で構成されております。また、当社は、日立グループの企業行動基準等に準じて共通の価値観の醸成と社会的責任の実践をはかっておりますが、事業においては日立グループのオートモティブシステム事業に位置づけられ各事業区分が明確となっており、このなかで当社は自主的な事業活動を実行してグループシナジー効果の創出をめざしております。

従いまして、親会社からの一定の独立性が確保されていると認識しております。

また、当社は、日立製作所との間で、日立グループ・プーリング制度による金銭消費貸借を行っておりますが、これは基本契約にもとづくものであること、併せて日立グループより26名の出向者を受け入れておりますが、これも主に技術開発支援等を目的とするものであることから、親会社

から重要な役務の提供を受けているものではなく依存関係にもありません。

(親会社及びそのグループ企業からの役員の兼務状況)

役 職	氏 名	親会社又はそのグループ企業での役職	就任理由
取締役	藤村 一路	親会社のグループ企業 日立オートモティブシステムズ(株) 取締役	財務部門の業務執行者として豊富な経験と実績を有しており、また、日立グループの経営理念の共有とシナジーの追求により、取締役会の意思決定機能を強化することが期待されるため。

3. 親会社との取引に関する事項

2018年3月期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)における親会社との取引の状況は以下のとおりであります。

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	(株)日立製作所	被所有 直接 64.00%	日立グループ・プーリング制度による預入・借入	資金の預入	2,089	短期貸付金	9,159
				資金の借入	—	長期借入金	14,600
				支払利息	45	未払費用	0

(注) 1. 記載金額のうち、取引金額に消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注) 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

短期貸付金、長期借入金は、(株)日立製作所のグループ・プーリング制度によるものであり、日々変動するため、取引金額については前期末残高に対する増減額を記載しております。なお、短期貸付金及び長期借入金の金利は市場金利を勘案して合理的に決定しております。

4. 親会社との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

親会社との取引が、他の取引先と比較して有利なものとなることがないように、基本契約や社内規程に基づき取引条件等を決定する体制を構築しており、さらに、支配株主等と少数株主の利益が相反するおそれのある取引等が行われないように、社内規程に基づき適正な承認手続きを経て意思決定が行われております。

以 上